

鉄道の沿線条件に対応した 騒音評価

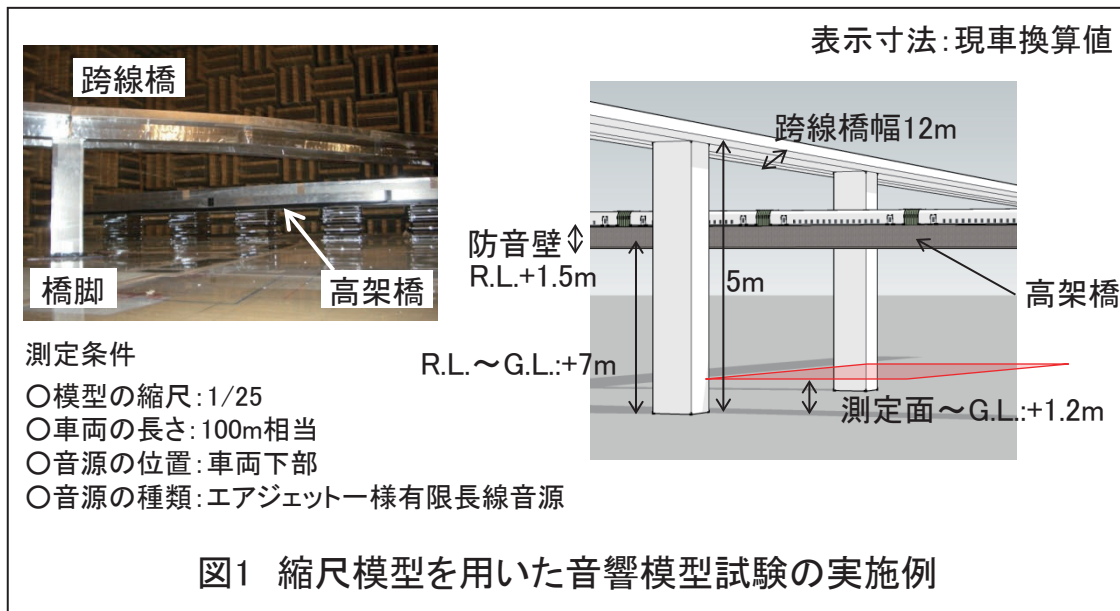
Quantitative Estimation of Railway Noise
in Consideration of Wayside Conditions

【概要】

鉄道沿線では、鉄道周辺の構造物によって反射や遮蔽が生じ、騒音に影響を及ぼす場合があります。ここでは、鉄道上空に設置された跨線橋および騒音測定点の背後の建物を取り上げ、音響模型試験を用いて、反射・遮蔽による影響を定量的に評価する手法を紹介します。

【特徴】

音響模型試験では、鉄道沿線の構造物等を簡易に模擬することができ、その結果を基に、沿線騒音に対する個々の構造物による影響を定量的に評価することができます。加えて、その評価結果を用いて反射や遮蔽による影響量を算出する予測モデルを構築し、同様の沿線条件での影響量を推定することができます。



【用途】

鉄道の沿線騒音において、跨線橋、背後の建物等の沿線条件に対応した騒音の影響量を、定量的に評価することができます。

